

## 若手研究者ICPP等派遣助成要項

### 1. 助成内容

国際公共政策学会 (International Public Policy Association) の研究大会 International Conference on Public Policy (ICPP) または国際ワークショップ International Workshops on Public Policy (IWPP) で研究報告を行う若手研究者 (40歳以下) の会員に対して、15万円を限度に支給する。助成金の使途は、航空運賃等の交通費、宿泊費、参加登録料に限定される。

2022年度の募集は、2023年に開催される研究大会 (ICPP6) を対象とする。

### 2. 応募方法と締切

下記7の応募先に、申請者名、メールアドレス、英語および日本語で作成した報告内容の概要 (英語400語程度、英語・日本語あわせてA4 MSワード2枚以内) を添付のうえ、メールで申請する (様式は自由)。

締切: 2022年11月30日

(ICPP6への申請も並行して行うこと。)

### 3. 審査手順

締切後、国際交流委員会が審査を行い、2023年1月の理事会後、採否を申請者に通知する。ただし、ICPPで応募が通らなかった場合、助成決定は取り消される。

### 4. 助成手順

研究報告が実際に行われた後、助成対象者から提出された助成金の使途報告書 (領収書ごとにいつ何に使用したかを記載) と領収書を学会事務局と国際交流委員会が確認したうえで、助成金が支給される。

### 5. 助成回数について

2年以上連続での応募も可とする。

### 6. 研究成果公開時の義務

この発表をもとに論文や著書等を刊行する場合は、謝辞として本助成を受けた旨を記載しなければならない。

### 7. 応募先

国際交流委員長 三田妃路佳まで (hirokam@cc.utsunomiya-u.ac.jp)